

荒川区景況速報(令和7年4～6月)

あら坊の景気ウォッチング！



全業種の動向

1 今期(4～6月)・次期(7～9月)の業況判断

※DIとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合

荒川区の今期は▲26.9、(前回調査▲18.7)と悪化、次期は▲38.9と大幅に悪化の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ前期並み、東京都ではやや改善の予想となっている。

2 今期(4～6月)の売上(1～3月と比較した状況)

「あまり変わらない」(45.3%)が4割半ばと最も高く、これに「減少した」(36.0%)、「増加した」(18.6%)が続いている。

3 原材料・原油価格の高騰等が経営にマイナスの影響を与えたとの回答の合計が6割半ば

「マイナスの影響があった」(50.3%)が最も高く、「大いにマイナスの影響があった」(14.3%)を合わせ、原材料・原油価格等の高騰によりマイナスの影響を受けたと回答した事業所が6割半ば(64.6%)である。これに「変わらない」(33.5%)、「プラスの影響があった」(1.2%)、「大いにプラスの影響があった」(0.6%)が続いている。

4 マイナスの影響を受けている内容は、仕入価格の上昇との回答が約3割

「仕入価格の上昇」(32.5%)が約3割と最も高く、これに「売上高、販売実績の減少」(15.0%)、「運搬等のコスト増加」(14.2%)、「光熱水費の高騰によるコスト増加」(11.7%)、「コスト増加分の価格転嫁が困難」(10.2%)、「取引先・親会社からの受注減少」(9.1%)、「製造工程でのコスト増加」(6.9%)、「その他」(0.4%)が続いている。

5 半分以上は価格転嫁できているとの回答が3割半ばを超える

「半分以上は転嫁できている」(36.6%)が3割半ばを超えて最も高く、これに「転嫁できたのは半分に満たない」(28.1%)、「全く転嫁できていない」(16.3%)、「全て転嫁できている」(11.8%)、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」(7.2%)が続いている。

*調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和7年6月13日に発送し、162事業所から回答がありました(回収率81.0%)。なお、集計結果の構成比の数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。

(問合せ)荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当:山本、益子
電話:03(3802)3111 内線:446

1 今期(4～6月)・次期(7～9月)の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲26.9、(前回調査▲18.7)と悪化、次期は▲38.9と大幅に悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ前期並み、東京都ではやや改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	1～3月	▲ 18.7	4～6月	▲ 26.9	7～9月	▲ 38.9	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	1～3月	▲ 21.4	4～6月	▲ 16.3	7～9月	▲ 15.0	
東京都(東京都 中小企業の景況)	4月	▲ 21.0	5月	▲ 20.0	6～8月	▲ 16.0	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲39.5、(前回調査▲18.9)と大幅に悪化、次期は▲30.2と大幅に改善の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではやや改善、東京都では改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	1～3月	▲ 18.9	4～6月	▲ 39.5	7～9月	▲ 30.2	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	1～3月	▲ 20.8	4～6月	▲ 17.9	7～9月	▲ 14.4	
東京都(東京都 中小企業の景況)	4月	▲ 27.0	5月	▲ 22.0	6～8月	▲ 16.0	

(3) 卸売業

荒川区の今期は▲28.6、(前回調査▲26.8)とほぼ前期並み、次期は▲42.9と大幅に悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ前期並み、東京都ではほぼ前期並みの予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	1～3月	▲ 26.8	4～6月	▲ 28.6	7～9月	▲ 42.9	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	1～3月	▲ 16.2	4～6月	▲ 13.8	7～9月	▲ 13.6	
東京都(東京都 中小企業の景況)	4月	▲ 16.0	5月	▲ 13.0	6～8月	▲ 13.0	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲11.9、(前回調査▲18.4)と改善、次期は▲45.2と大幅に悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ前期並み、東京都では大幅に改善の予想となっている。

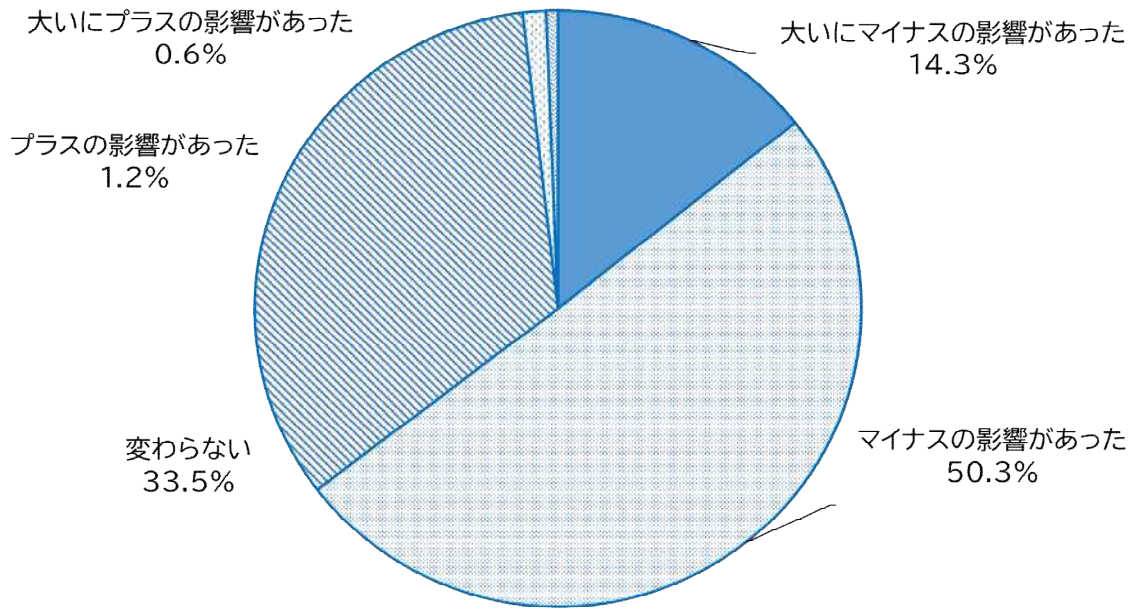
調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	1～3月	▲ 18.4	4～6月	▲ 11.9	7～9月	▲ 45.2	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	1～3月	▲ 31.2	4～6月	▲ 26.8	7～9月	▲ 25.3	
東京都(東京都 中小企業の景況)	4月	▲ 33.0	5月	▲ 33.0	6～8月	▲ 23.0	

2 今期(4～6月)の売上(1～3月と比較した状況)

「あまり変わらない」(45.3%)が4割半ばと最も高く、これに「減少した」(36.0%)、「増加した」(18.6%)が続いている。(前回調査「あまり変わらない」:41.9%、「減少した」:36.8%、「増加した」:21.3%)
業種別では「増加した」が、製造業では16.3%、卸売業では19.0%、小売業では19.0%となっている。

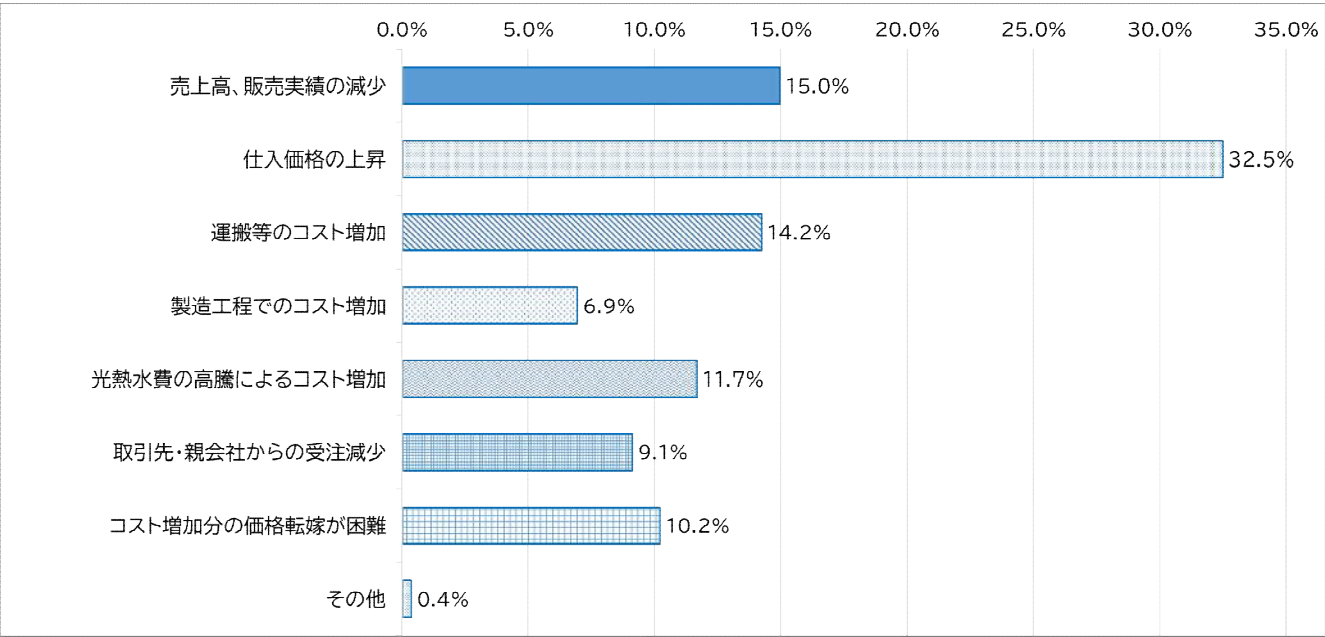
3 最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか

「マイナスの影響があった」(50.3%)が最も高く、「大いにマイナスの影響があった」(14.3%)を合わせ、原材料・原油価格等の高騰によりマイナスの影響を受けたと回答した事業所が6割半ば(64.6%)である。これに「変わらない」(33.5%)、「プラスの影響があった」(1.2%)、「大いにプラスの影響があった」(0.6%)が続いている。



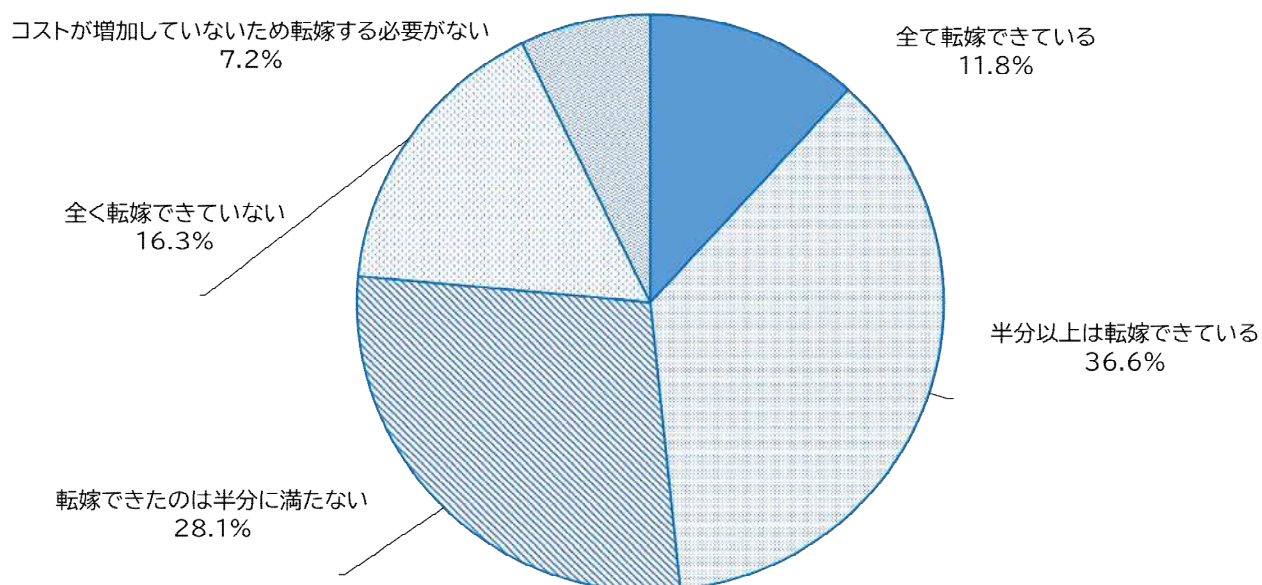
4 マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

「仕入価格の上昇」(32.5%)が約3割と最も高く、これに「売上高、販売実績の減少」(15.0%)、「運搬等のコスト増加」(14.2%)、「光熱水費の高騰によるコスト増加」(11.7%)、「コスト増加分の価格転嫁が困難」(10.2%)、「取引先・親会社からの受注減少」(9.1%)、「製造工程でのコスト増加」(6.9%)、「その他」(0.4%)が続いている。



5 物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください

「半分以上は転嫁できている」(36.6%)が3割半ばを超えて最も高く、これに「転嫁できたのは半分に満たない」(28.1%)、「全く転嫁できていない」(16.3%)、「全て転嫁できている」(11.8%)、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」(7.2%)が続いている。



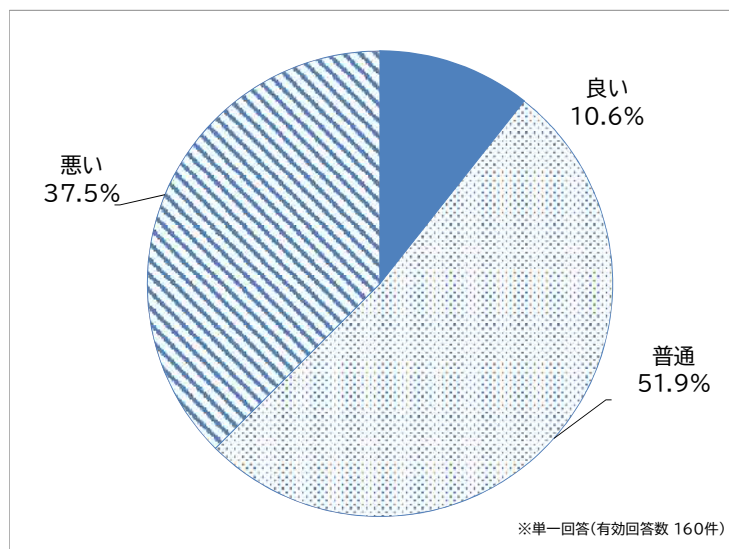
6 主な自由意見等

業種	従業員規模	内 容
製造	11～20人	3年前に原材料(金属)の価格上昇を受けて値上げし、先日も取引先の理解を得て、比較的短期の間に再度値上げをすることができたところである。
製造	71～80人	値上げはほとんど認められるが、取引先も予算が限られており、値上げ分は受注量の減少で調整されてしまう。この先も厳しい状況が続く見込みで、なかなか賃金アップまで考えられない。
卸売	6～10人	(菓子類の包材関連) 連休前までは前年より売上が伸びていたが、お米の価格高騰を受け、売上・受注ともに急激に悪化している。主食を買うことが優先されているようだ。
卸売	0～5人	従来までの二次問屋への販売が低下して、インターネット通販が伸びてきている。
小売	0～5人	輸入原材料等の仕入れ値が一昨年より30%近く上がったが、それに伴う商品の値上げは10～20円程にとどまる。収益の減少が非常に大きく、経営状況が悪化している。
サービス	0～5人	毎月のように仕入れ商品が値上がりしており、利幅がほとんどない。昨年度、売上が伸びているにも関わらず初めて赤字を計上し、今年度も赤字決算になりそう。業務内容の変更など、抜本的な解決策を検討している。
サービス	0～5人	物価上昇の終わりが見えず、商品の価格転嫁が見通せない。 お店のメニューを毎月変えることはなかなか難しい。
建築	0～5人	元請各社の業績も伸び悩んでおり、設備投資に慎重になっているようである。下請企業にもその影響が現れている。

令和7年4～6月 あら坊の景気ウォッチング

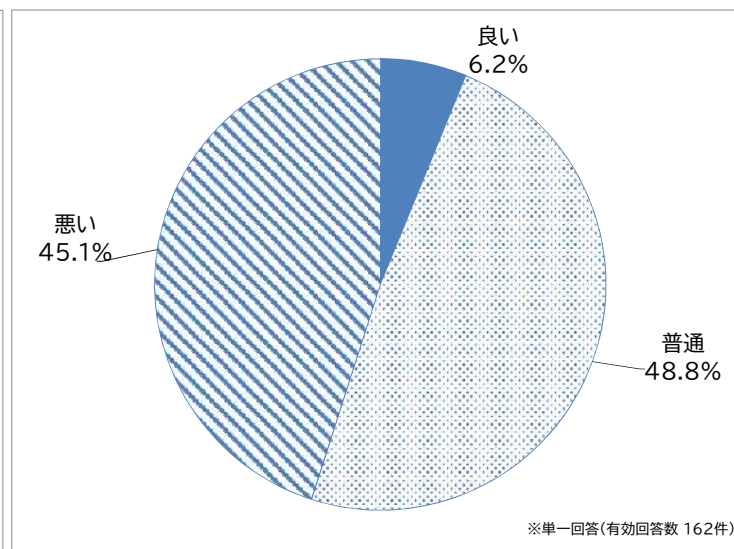
[全業種]有効回答162事業所

4～6月の景況



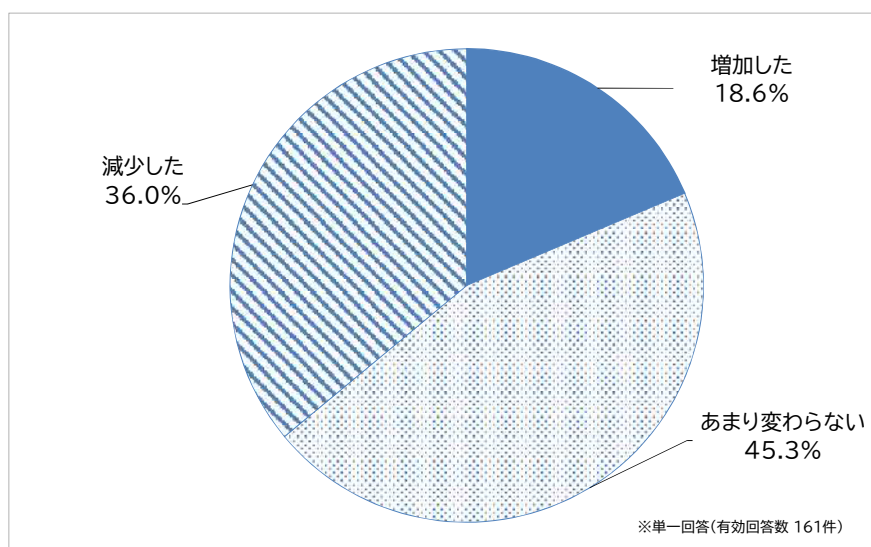
DI ▲ 26.9

7～9月の景況予想

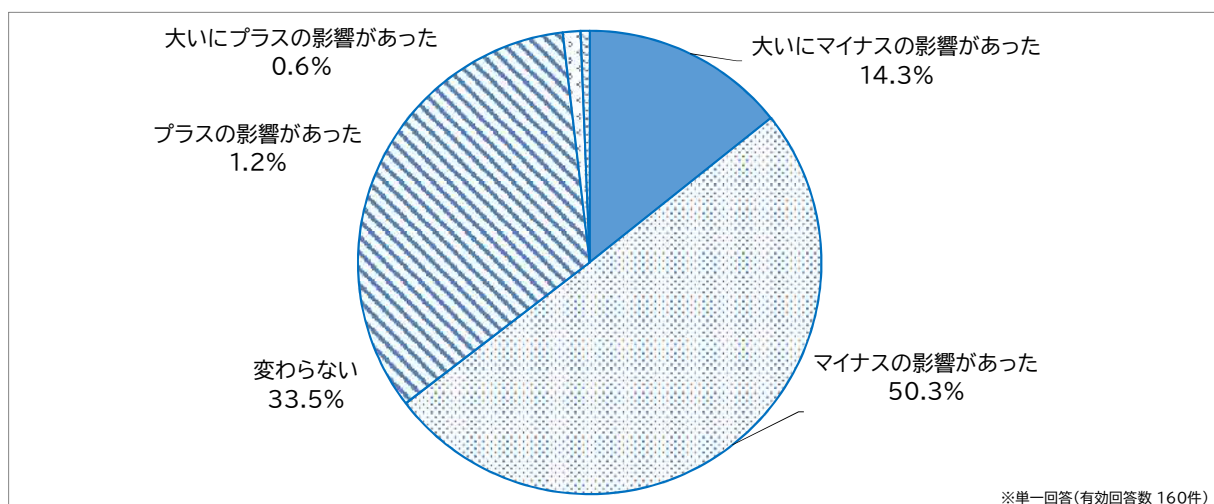


DI ▲ 38.9

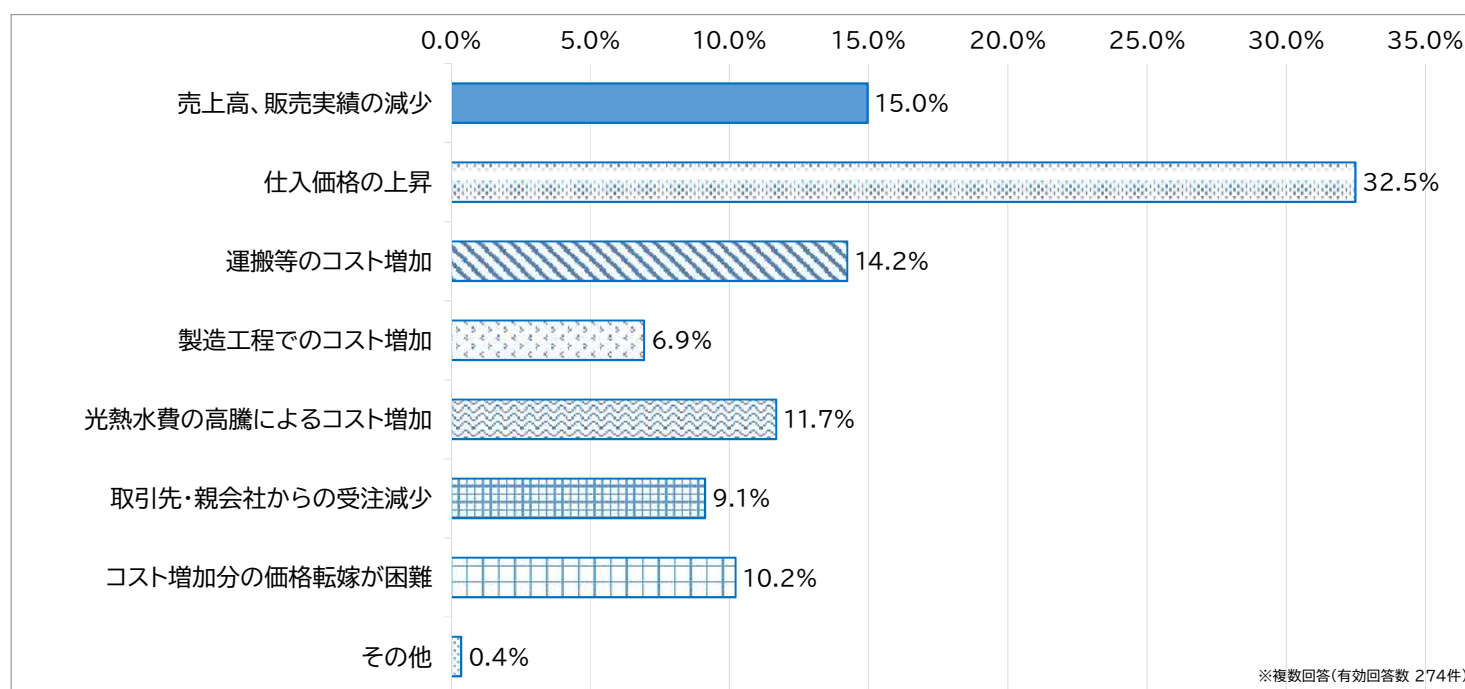
4～6月の売上(1～3月)との比較



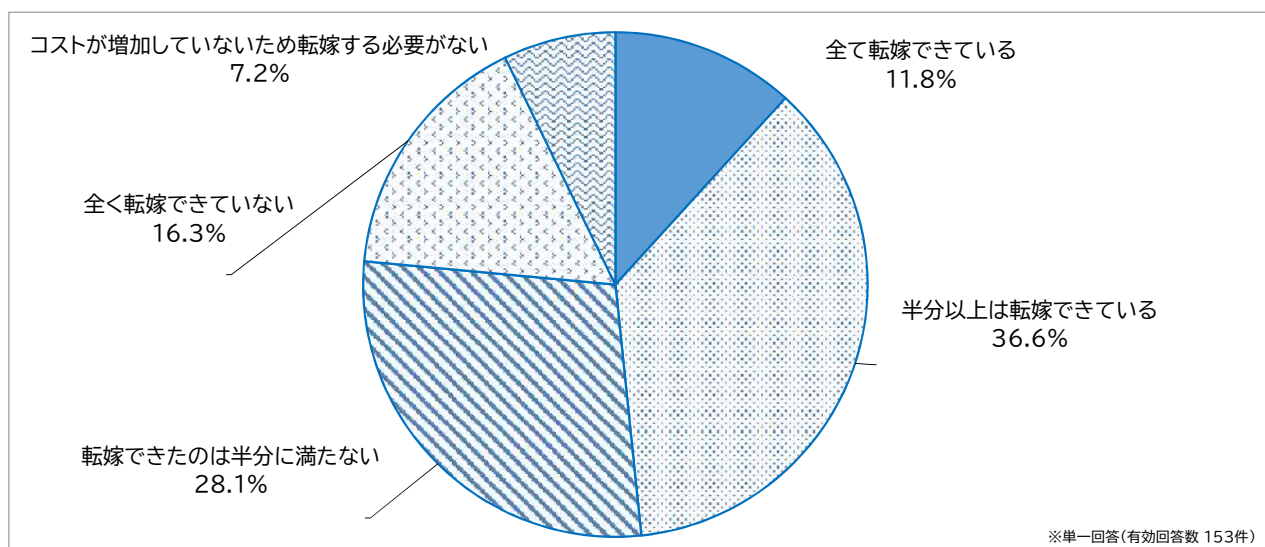
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

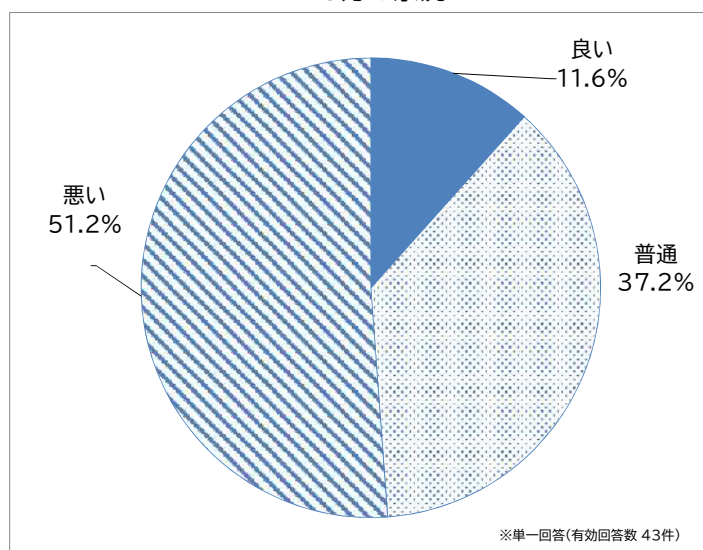


物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



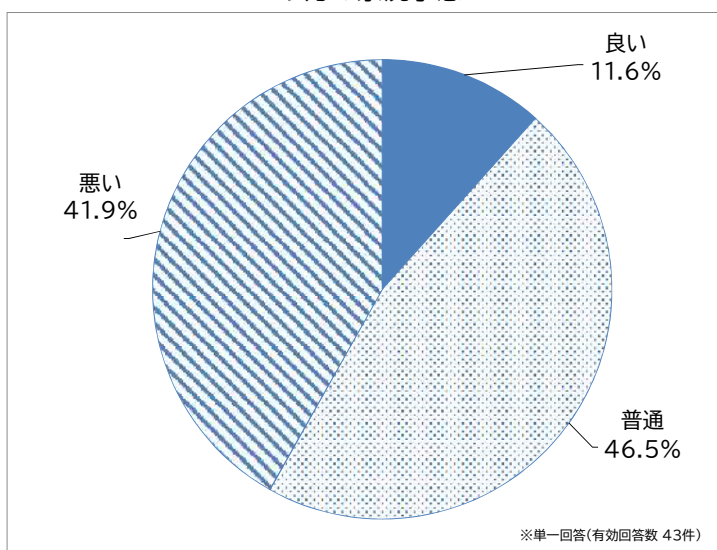
令和7年4～6月 あら坊の景気ウォッチング [製造業]有効回答43事業所

4～6月の景況



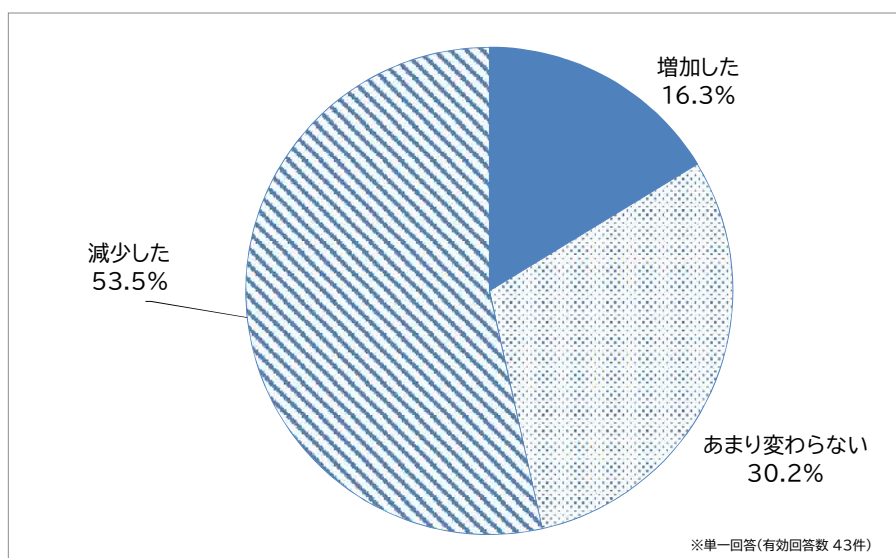
DI ▲ 39.5

7～9月の景況予想

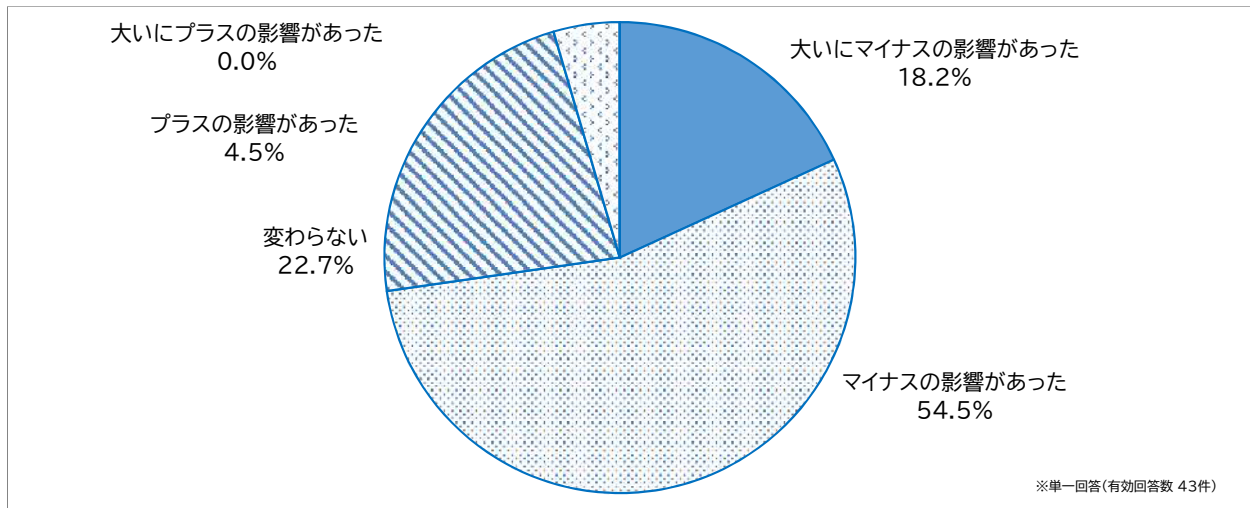


DI ▲ 30.2

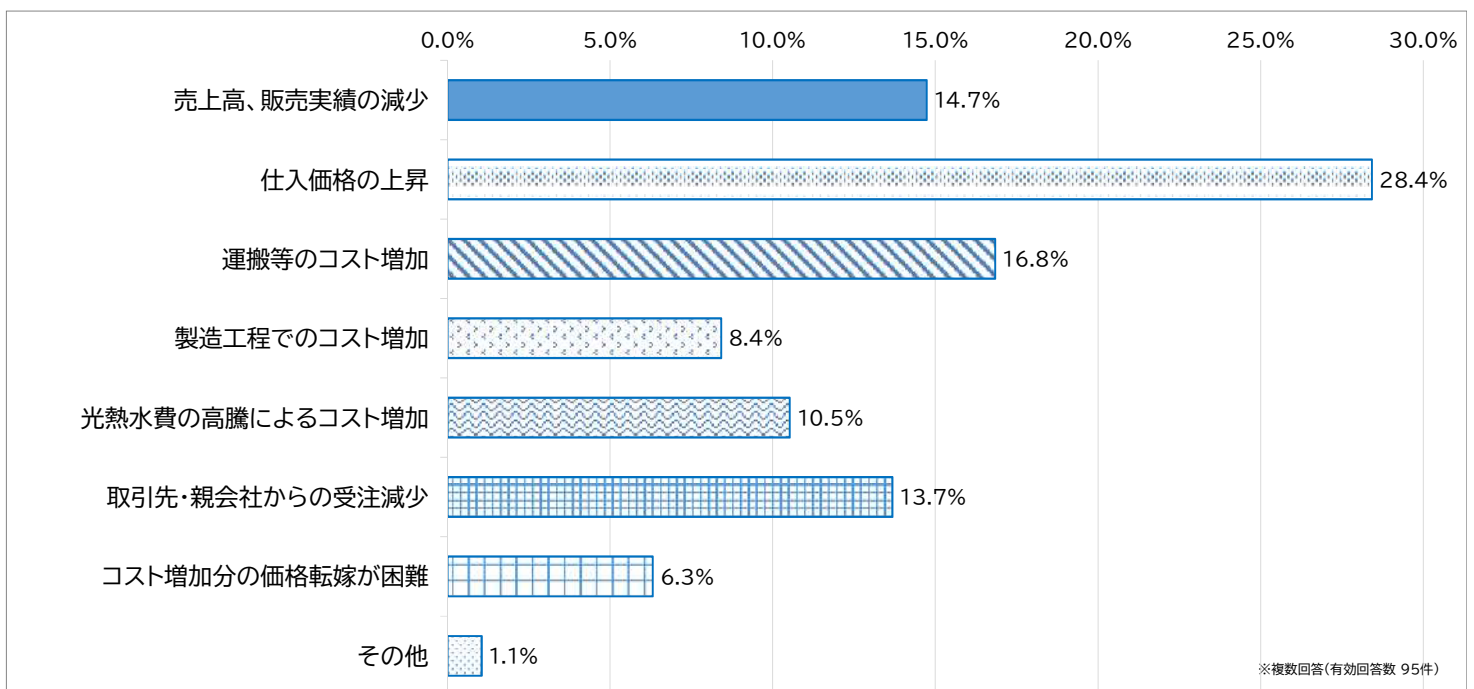
4～6月の売上(1～3月)との比較



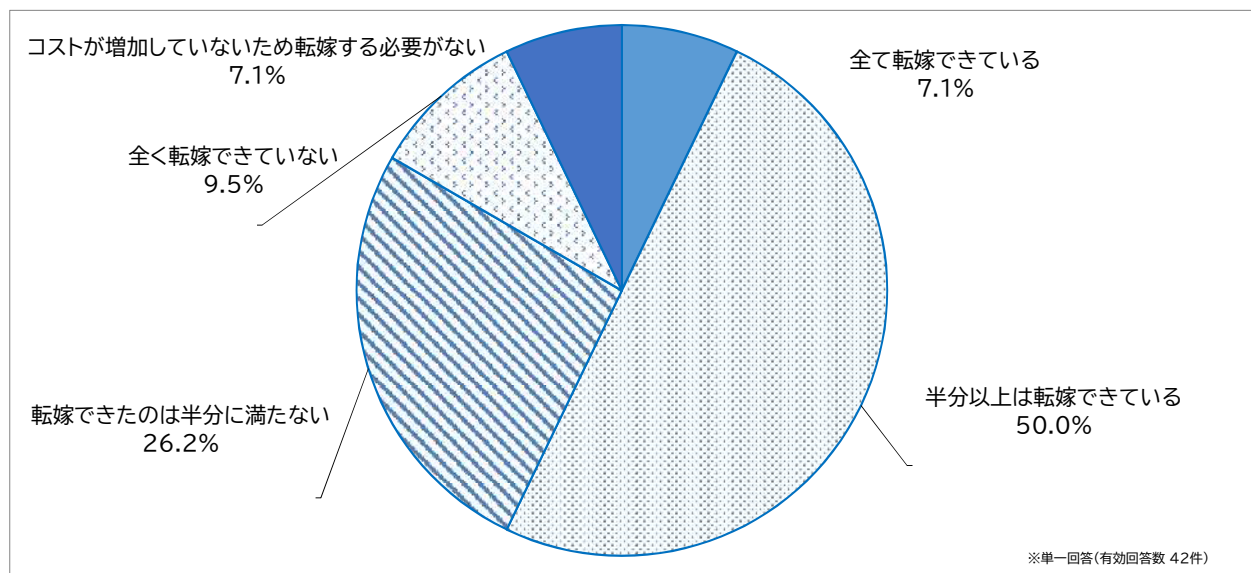
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

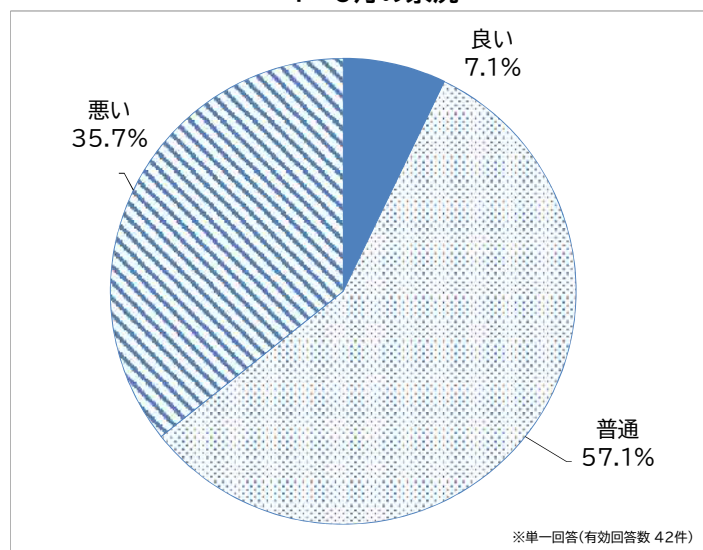


物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



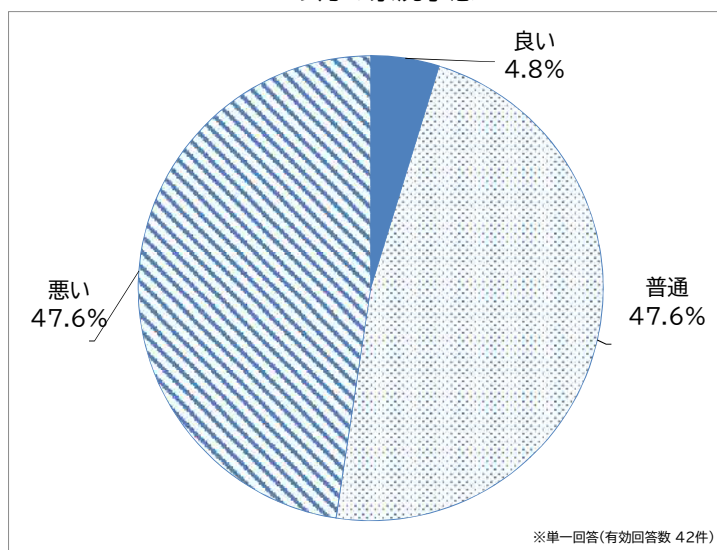
令和7年4～6月 あら坊の景気ウォッチング 【卸売業】有効回答42事業所

4～6月の景況



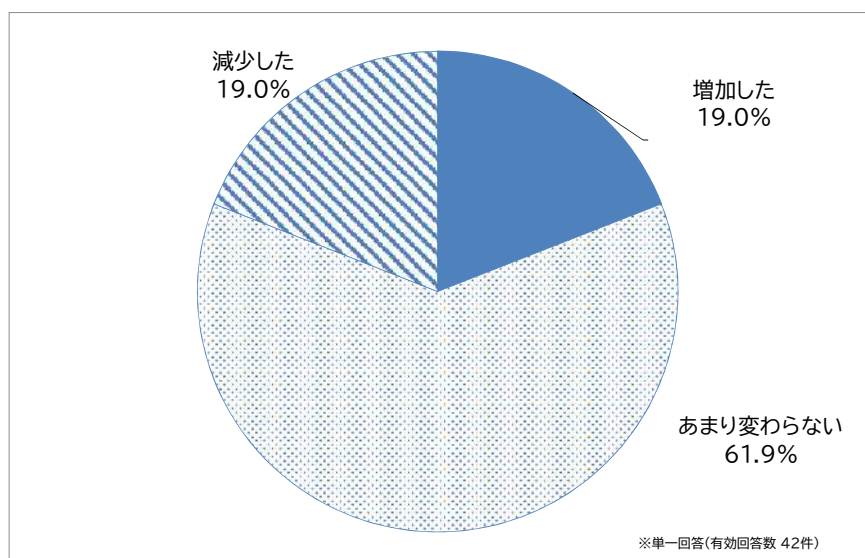
DI ▲ 28.6

7～9月の景況予想

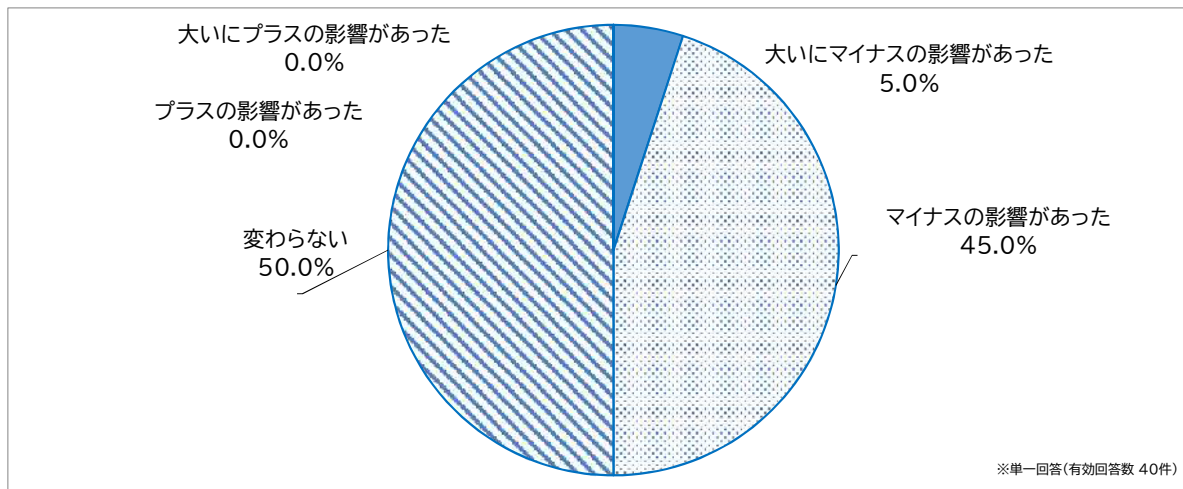


DI ▲ 42.9

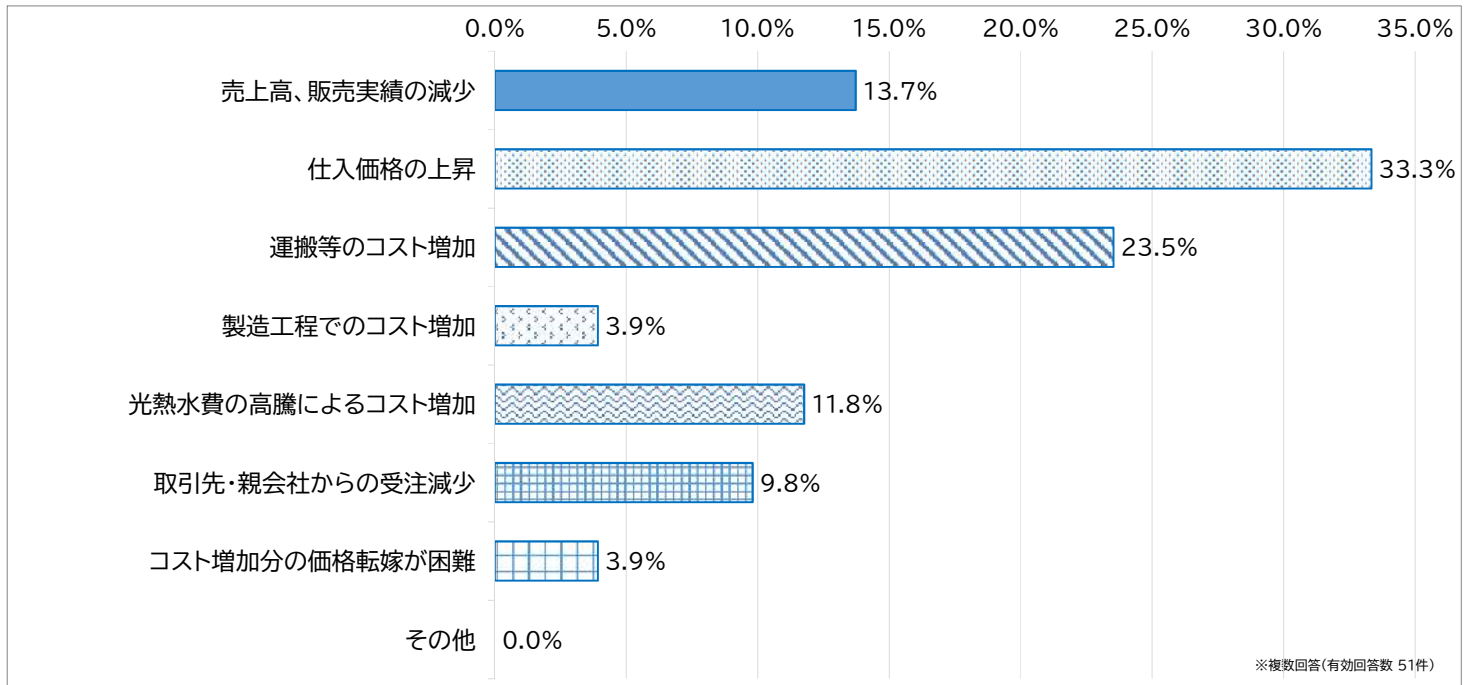
4～6月の売上(1～3月)との比較



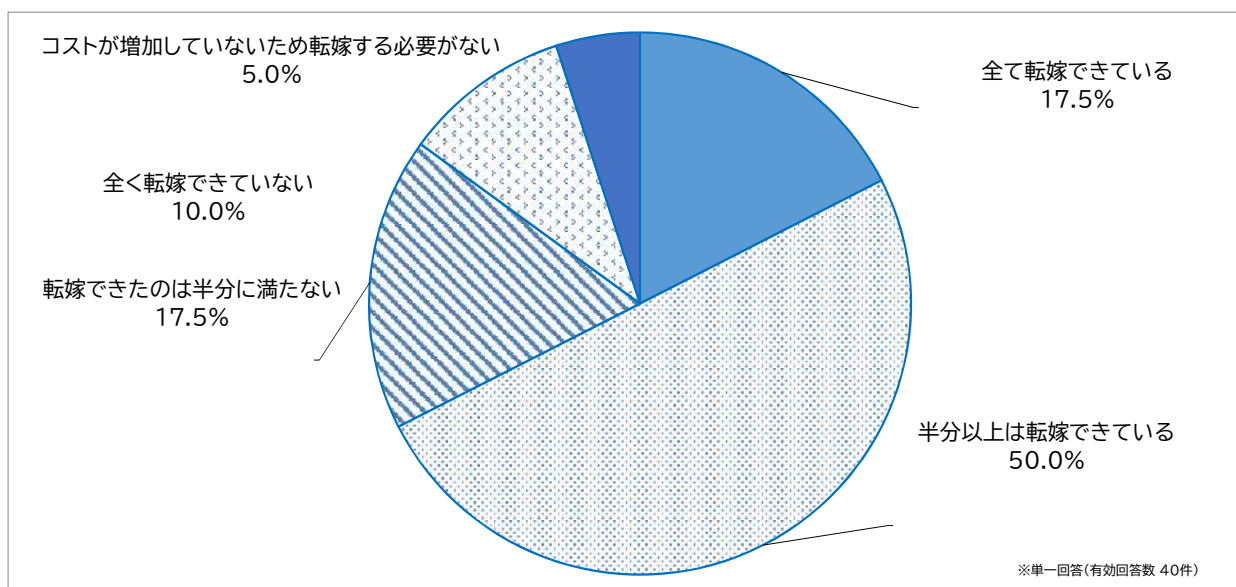
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

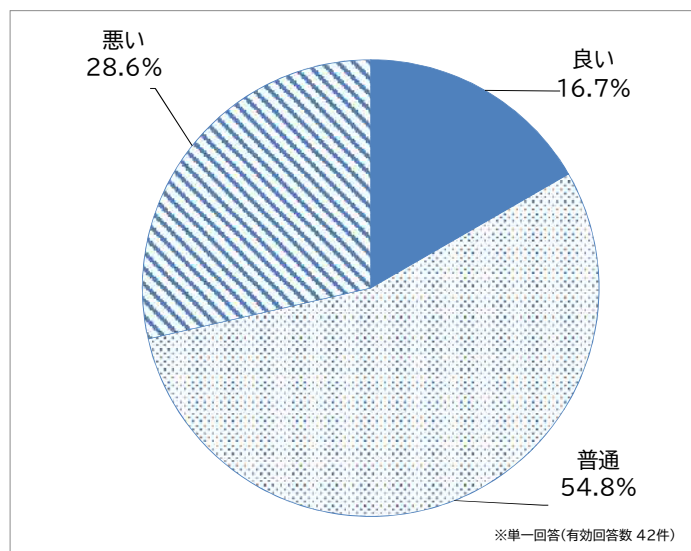


物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



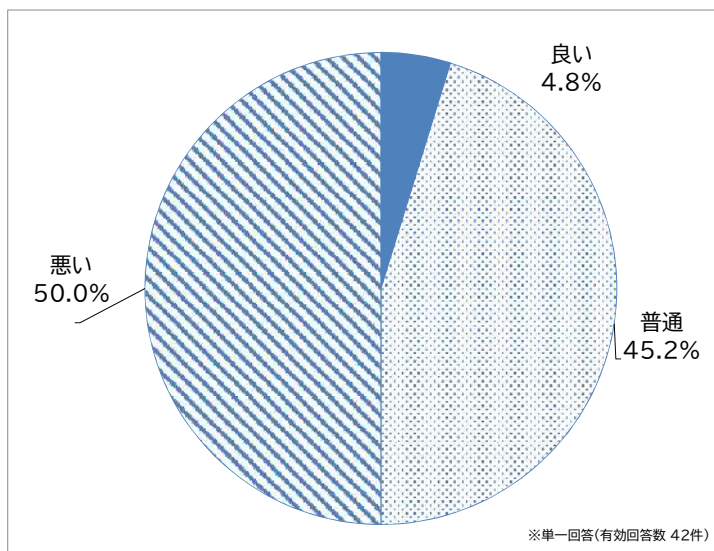
令和7年4～6月 あら坊の景気ウォッチング [小売業]有効回答42事業所

4～6月の景況



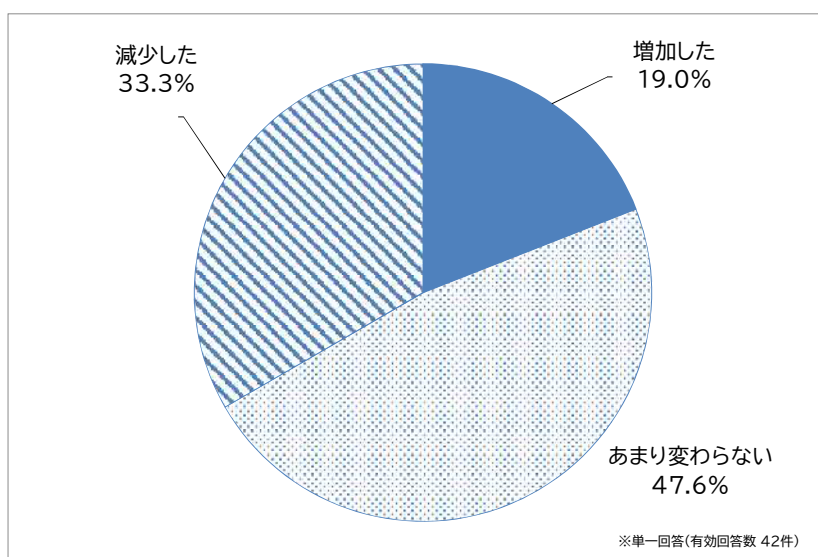
DI ▲ 11.9

7～9月の景況予想

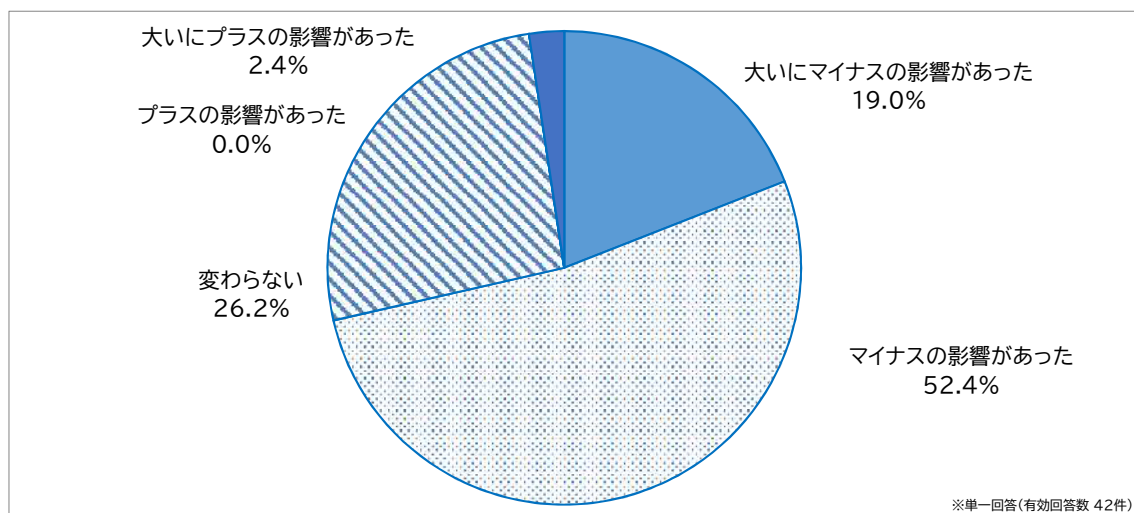


▲ 45.2

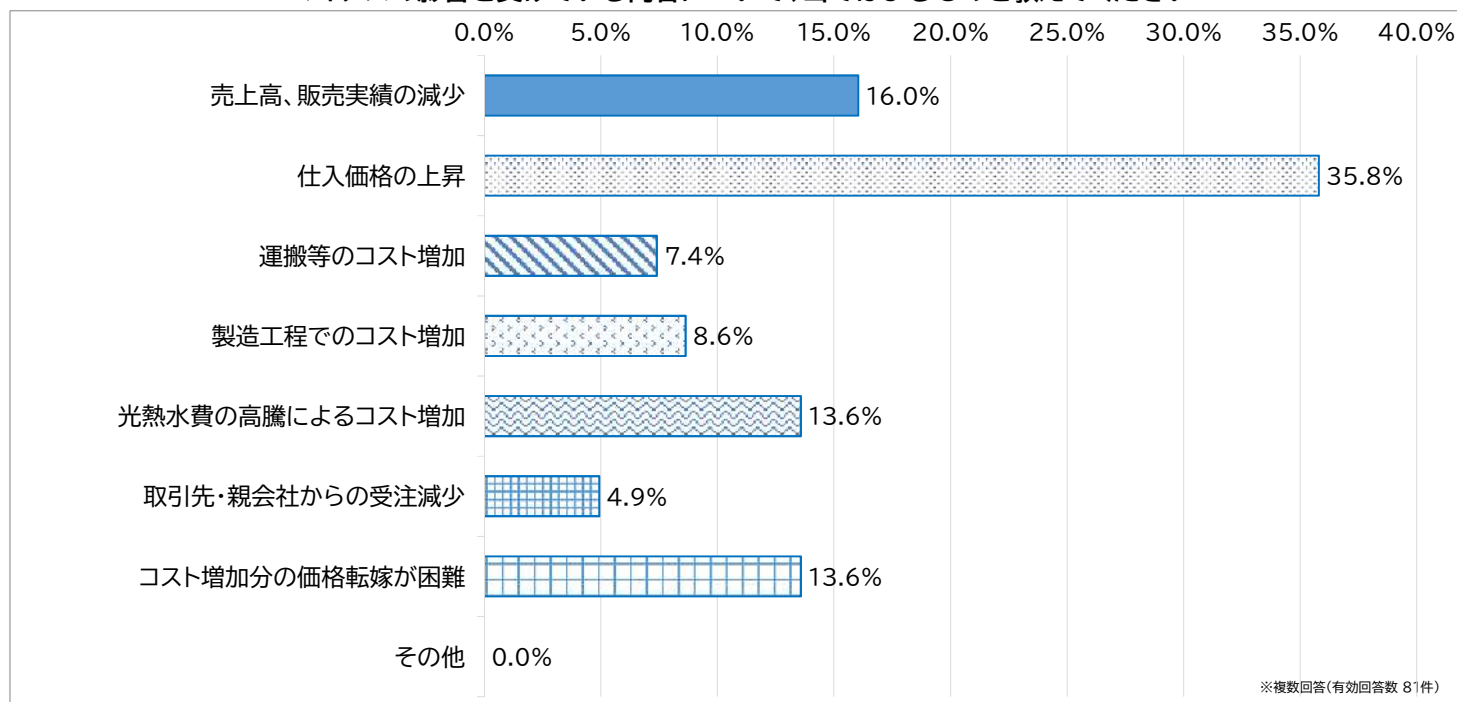
4～6月の売上(1～3月)との比較



最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください

